



座席 番号				
受験 番号				

二〇二二年度 二月一日 入学試験 国語問題

国語の注意

答えはすべて解答用紙に書きなさい。

答えは解答らんからはみ出さないように書きなさい。

字数の指定がある場合は、句読点や記号なども一字に数えなさい。

【試験についての注意事項】

- 1 机の上に出してよいものは、次の三つです。それ以外のものはカバンにしまってください。
    - ① 座席番号シール と 受験票（机の左上にあります）
    - ② えんぴつ数本（シャープペンシルも可・色ペンやマーカー、定規の使用は不可）
    - ③ 消しゴム
  - 2 次のものを持ってきた場合は、カバンにしまってください。また、休けい時間中も使用してはいけません。
    - ① 腕時計・置き時計など（音が鳴らないようにしてください）
    - ② 携帯電話・スマートフォン（電源を切ってください）
    - ③ 腕時計型の情報端末（Apple Watch など）
- ※ 許可なく携帯電話・スマートフォンや腕時計型の情報端末を使用した場合、不正行為とみなすことがあります。
- 3 机の中には、何も入れないでください。
  - 4 チャイムが鳴ったら、次のことを記入してから始めてください。

問題用紙 ↓ 座席番号 と 受験番号  
解答用紙 ↓ 座席番号 と 受験番号 と 氏名
  - 5 問題についての質問は、いっさいできません。
  - 6 気分が悪くなったなら、すぐに申し出てください。
  - 7 物を落としたら、自分でひろわず、手をあげてください。

次の文章は、森絵都「風と雨」の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

風香と瑠雨は小学五年生のクラスメイト。友だちグループの分裂で一人になった風香は、無口でいつも一人である瑠雨といっしょに過ごすようになった。しゃべらないけれど人を拒まない瑠雨に風香はいやされるようになる。そして瑠雨が特別に良い耳を持っているのではないかと思うようになる。一方、瑠雨は……

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

問一 線(1)「わたしがイメージする『内』と『外』のラインは、ドッジボールのコートとはちがう」とありますが、瑠雨にとってはどのように違うものですか。その違いを左の空らんそれぞれ十五〜二十字のことはを入れる形で説明しなさい。

「ドッジボールのコート」の方は  A  であるのに対し、  
「わたしがイメージする」方は  B  である。

問二 本文全体を読み、次の1・2に答えなさい。

1 瑠雨にとって、雨、風、落ち葉、鳥、おじいちゃんの洋曲などの音や声は、瑠雨がどのようなことをする対象なのでしょう。次の空らん五〜七字以内のことはを入れて答えなさい。

瑠雨が一生懸命  対象

2 線①〜②のうち、1にあるような瑠雨の音や声への対し方にあてはまらないものが四つあります。その番号の数字を答えなさい。

問三 ターちゃんのうたは実は「謡曲」という室町時代から日本に伝わる伝統芸能で、古いことばに独特の節をつけてうたう歌でした。風香はなぜそれを「洋曲」だと思こんだのですか。風香がターちゃんのうたを聞いてどのように思ったのか想像して説明しなさい。

問四 瑠雨と風香は、物語の中であったできごとを通して変化します。次の表について、後の1〜3に答えなさい。

	【瑠雨の変化】	【風香の変化】
あったできごと	<ul style="list-style-type: none"> <li>私を受け入れてくれる風香とのやりとり。</li> <li>ターちゃんとの出会い。</li> <li>「謡曲」を初めて聴いて感動した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとりになるのがこわくて本心は誰にも言えなかった。</li> </ul>
②) なにか大きなものの内側に入れてもらった気がする	<input type="text"/> A <input type="text"/>	<input type="text"/> B <input type="text"/>
1 に入ることを本文中のことはを使って答えなさい。	<input type="text"/> A <input type="text"/>	<input type="text"/> B <input type="text"/>
2 に入ることを「瑠雨に対して……できた」という形で答えなさい。	<input type="text"/> B <input type="text"/>	<input type="text"/> A <input type="text"/>
3 線(2)「なにか大きなものの内側に入れてもらった」とはどういうことですか。説明しなさい。	<input type="text"/> B <input type="text"/>	<input type="text"/> A <input type="text"/>

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。  
※設問上の都合により、本文には一部省略や改変した箇所があります。

(森田 真生『数学する身体』より)

(本文省略) ※著作権法上の手続完了まで省略します。

問一 線①～⑥のかたかなを漢字に直しなさい。

問二 線(1)～(5)について、本文中での意味内容を説明する文の [ ] にあてはまることばを、それぞれの選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

(1) 「端的な存在の充満」とは、生まれたばかりの赤ん坊にとつてすべてが一体である状態のことで、同じ段落内で同じ内容が比喩を用いて [ ] と表現されている。

ア 差異 イ 自分自身 ウ 存在の海 エ 『私』と『世界』

(2) 「世界の分節化」とは、世界に [ ] を見出すことで区別や分離が起こり、その人の認知する世界に新たな領域が立ち上がることである。

ア 言葉 イ 差異 ウ 宇宙 エ 数字

(3) 「離散的」とは、[ ] と同義であり、離散的な量を把握することを「個数」の認識と言っている。

ア 連続的で曖昧 イ 徐々になめらかに移り変わる

ウ 漠然としている エ 境界がある

(4) 「身体化」とは、その存在に対して自分の身体の一部であるかのように [ ] になることである。

ア 無敵 イ 無縁 ウ 無知 エ 無意識

(5) 「外部メディア」とは、情報を記録して輸送や保存ができる物のこと。本文では木、骨、[ ] が例として挙げられている。

ア 遺跡 イ 粘土板 ウ 数字 エ 文明

問三 線A 「人間の一生のはじまりにおいては、2と1とが同時に到来する」とありますが、それはどういうことですか。この場合の「1」と「2」は何を指すのかをそれぞれ明らかにして説明しなさい。

問四 [B] には小見出しとして本文のこの後の部分全体の主題(最終的に説明したいのは何か)を言い表したことばが入ります。次の中から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 人間が瞬時に把握できる数量には限界がある

イ 「自然数」は人工物に過ぎない

ウ 道具としてつくられた「数」と数字、その歴史

エ 数字のデザインと人間の認知能力の関係

問五 線C 「図1」の作り方の特徴についての説明として適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 個数の小さいものから大きいものへと順に並べることで、見る人が予測して個数をつかみやすくなるようにしている。

イ 一つ一つの絵の大きさが個数の判断のヒントにならないように、それぞれの表す個数の大きさに比例しないようにしている。

ウ 抽象的で何の絵なのかわかりにくいものと具体的な絵を混ぜてあることで、具体的な絵の方が個数もわかりやすいことを実感できる。

エ 生物と無生物を混ぜてあることで、無生物の方が個数がわかりにくくなる傾向があることに気づかせようとしている。

問六 線D 「図2」を使って筆者が説明したいのはどういうことですか。八十字以内で説明しなさい。

